

※答えは、別紙の解答らん書き入れなさい。

一、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

インド住まいのメアリは、両親の死後イギリスの叔父の家に引き取られる。誰からも愛されず感情の乏しかったメアリだが、イギリスの自然に親しみ、ディコンという友達もできたおかげで活発になる。そうした折、病弱な従兄弟・コリンに初めて出会う。

「わたしはロンドンからきたえらいお医者さんが好きだわ。鉄の装具ははずさせてくれたから。」やがてメアリがいました。「そのお医者さん、あなたが死ぬっていった？」

「ううん。」

「なんていったの？」

「ひそひそ話はしなかったよ」とコリンは答えました。「たぶん、ぼくがひそひそ話をきらいだつて、知ってたんだ。ひとつ、とても大きな声でいつているのが聞えたよ。こういったんだ。『この子は、生きるつもりになれば、生きられるかもしれない。生きる気にかけてやりなさい』って。まるで怒っているように聞こえたよ。」

「だれが生きている気にかけてくれそうか、おしえてあげるわ」とメアリは考えながらいいました。この問題をはっきりさせたいと感じていたので。「ディコンならそうさせてくれると思うわ。いつも生きているものの話をしているもの。死んだものや病気のものの話はしないわ。いつも空を見上げて小鳥が飛ぶのを見ている、そうでなければ、地面を見下ろして、なにかが育つのをしている。青い目がまん丸なの、いつもよく見まわしているからあんなに大きく開いているのよ。それから、大きな口をあけて、大きく笑うの——それからほつたは真つ赤なの——サクラランボのよに真つ赤なのよ。」

メアリはスツールをコリンのソファに寄せました。ディコンの大きな半月形の口と大きく見開かれた目を思い出して、メアリの表情がやさしくなりました。

「さあ、ねえ」とメアリはいいました。「死ぬことの話はやめましょう。好きじゃないわ。生きることの話をしましょうよ。ディコンのことを話しましょう。それから、絵本の絵を見ましょうよ。」

これ以上の提案はありませんでした。ディコンについて話すということは、ムアに

ことはまったくしたくないことではないように答えたのです。年老いた猫と犬が部屋に入ってきたにすぎないかのよう、あわてもこわがりもしませんでした。

「これはいこのメアリ・レノックスだよ」とコリンはいいました。「ここへきて、話をしてくれるようにぼくが頼んだんだ。メアリとは気が合うんだよ。これからは、ぼくが呼びにやったら、いつでも話しかけてくれるようにしてほしい。」

③ クレイヴン先生は、メドロックさんのほうをとがめるように見ました。

「まあ、先生」とメドロックさんはあえぐようにいいました。「どうしてこんなことになったのか、見当もつきませんわ。この召使いはだれひとりとしておしやべりするものはおきません——みんなきちんといつけられておりますから。」

「メアリには、だれもなんにもいってないよ」とコリンがいました。「メアリはぼくが泣いているのを聞いて、自分で見つけたんだ。メアリがきてくれて、よかったよ。メドロック、ばかげたことをいうんじゃない。」

メアリは、クレイヴン先生が不快そうな表情をしていることに気づきましたが、先生がこの患者に⑤があらがないのは明らかでした。先生はコリンのそばに腰かけて、脈をとりました。

「ちよつと興奮しすぎのようだね。興奮はきみのからだにはよくないんだよ」と先生はいいました。

「もしメアリがこれらなくなったら興奮するよ」とコリンはいいました。目が危険な輝きを見せはじめました。「気分はいいよ。メアリが気分をよくしてくれるんだ。看護婦にぼくの夕食といっしょにメアリの分も運ぶようにいつて。いっしょに食べるんだから。」

⑥ メドロックさんとクレイヴン先生は困ったように顔を見合わせましたが、どうやらどうすることもできないようでした。

「たしかに気分がよさそうに見えますわ」とメドロックさんは先生にいつて、それから考え直したようにつけ加えました。「でも、今朝は、メアリさんが部屋に入ってくる前から、気分がよさそうでした。」

「メアリはきのうの夜、ここへきたんだよ。長いあいだ、ここにいてくれた。インドの歌を歌ってくれて、それを聞きながらぼくは寝ついたんだ」とコリンはいいました。「目をさましたら、とても気分がよかったです。朝ごはんが食べたかったんだ。そろそろ

ついて話すことで、小さな家とそこに住む、週十六シリングの給金で生活している十四人の人たちについて、それから野生のボニーのように、ムアの草を食べてよく太る子どもたちについて、話をするのでした。それから、ディコンのお母さんについて、それからなわとびのなわについて、そしてお日さまのテラムアについて、それから黒い土からつきでくる薄緑色のとがったシンメについて話をすることでした。そして、それらのことがみんないきいきしているの、メアリはこれまで話したこともないほどたくさん話をしました。そしてコリンは、これまでしたことないほど話したり、聞いたたりしました。それからふたりは、遊んでいる子どもたちが楽しいときにするように、なんでもないことで笑いはじめました。笑いころげているうちに、ふたりはかたくなで心の狭い、愛することを知らない少女と、病弱で自分まもなく死ぬと信じている少年ではなく、まるでそのへんの健康で、自然な、ふつうの十歳の子ともであるかのように、にぎやかに騒いでいました。

ふたりは① 楽しかったので、絵のことを忘れ、時間のことを忘れしました。ベン・ウエザスタッフとコマドリのことで大きな声で笑っていたのですが、弱い背中のことを忘れたようにまっすぐすわっていたコリンが、② あることを思い出しました。「ねえ、ぼくたちがこれまで考えていなかったことがあるんだよ、なんだかわかる？」とコリンはいいました。「ぼくたち、いとこ同士なんだ。」

③ 話をしていたのに、このタンジュンなことに気がつかなかったことがすくおかしくて、ふたりはまた④ 笑いだしました。なんでもおかしくて笑ってしまう気分になっていったからです。こうしてふたりが楽しくすごしているさいゆうに、ドアが開き、クレイヴン先生とメドロックさんが入ってきました。

クレイヴン先生はぎくつとして後ずさりし、メドロックさんにぶつかったので、メドロックさんは後ろに倒れそうになりました。

「なんということ！」気の毒なメドロックさんはさげびました。驚いて目とびだしそうになっていました。「なんということ！」

「これはなにごとだね？」クレイヴン先生が前へ出ていいました。「どういうことなのだね？」

そのときメアリはまた、インドの王子のことを思い出しました。コリンは、クレイヴン先生がどんなに驚いても、メドロックさんがどんなに恐れおののいても、そんな

夕ごはんが食べたくなつたよ。看護婦にいつておくれ、メドロック。」

クレイヴン先生はあまり長くはいませんでした。看護婦が部屋に入ってくると、ちよつとのあいだ話をして、それからコリンにいくつか注意をしました。あまり話しすぎないこと、病弱であることを忘れないこと、すぐに疲れることを忘れないことなどでした。忘れてはいけないことがたくさんあって、コリンもたいへんね、とメアリは思いました。

コリンはいらいらしたようすで、まつげの濃い目でじつとクレイヴン先生を見つめました。

⑦「ぼくは忘れたんだ、そんなこと。」やがてコリンはいいました。「メアリといると忘れられる。だから、いっしょにいたいんだ。」

クレイヴン先生は部屋を出るとき、ふきげんそうでした。大きなスツールにすわっている小柄な少女をふしぎそうにちらりと見ましたが、メアリは先生が部屋に入ってきたときたちまち、⑧いつものよそよそしい、無口な子どもにもどっていました。から、この子のどがそんなにいいのか、先生にはわかりませんでした。けれども、コリンがいつもより元気そうに見えるのは事実でした。先生は廊下を歩いていきながら、深いため息をつきました。

⑨「あのレンチュウはいつも、ぼくが食べたなくても、食べる食べるというんだ。」看護婦が夕食を運んできて、ソファのそばのテーブルにおいたとき、コリンはいいました。「きみが食べるなら、ぼくも食べるよ。このマフィン、熱々でおいしそうだね。さあ、インドの王子について話をしよう。」

(バーネット『秘密の花園』より)

問一 部①「この問題」とはどういうことですか。最もふさわしいものを次の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- ア コリンが忠告を聞く気になるような医者は誰かということ。
- イ コリンがひそひそ話を嫌いなことに気がつけるのは誰かということ。
- ウ コリンが生きている気になるようにさせられるのは誰かということ。
- エ コリンが死ぬ運命であることを言えるのは、誰かということ。

1 2

問二 — 部②、なぜ「これ以上の提案」はないのですか。最もふさわしいものを次の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- ア 病氣や死ぬことの心配よりも、貧乏子沢山の家に同情する方が気楽だから。
- イ コリンの話が続いたので、メアリが知っている話や好きなことをしたいから。
- ウ メアリとコリンがともに良く知っている話や、楽しくできることをしたいから。
- エ コリンに死ぬことを忘れさせ、生きる気にさせるような話題だから。

問三 — 部③「クレイヴン先生は、メドロックさんのほうをとがめるように見たのはなぜですか。説明しなさい。

問四 — 部④、メドロックさんは先生にどのようなことを言いたいのですか。次の選択肢から最もふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

- ア 召使いは良くいつつけられているので、二人が会っているのは、自分のせいではないということ。
- イ 召使いは良くいつつけられているので、二人が会っているのはデイクンのせいだということ。
- ウ 召使いは良くいつつけられているので、二人が会っているのはロンドンから来た医者のせいだということ。
- エ 召使いは良くいつつけられているので、二人が会っているのは先生のせいではないということ。

問五 空らん ⑤に適切な漢字一字をいれて、意味が通じるようにしなさい。

問六 — 部⑥「困ったように顔を見合わせ」たのはなぜですか。四十字前後で説明しなさい(句読点含む)。

問七 — 部⑦「そんなこと」とはどういうことですか。それが分かる一文の最初と最後の五文字を書き抜きなさい(句読点含まない)。

となつて追求した感動的な ①です。

アサガオは夜明けに咲きます。

ふつう私たちはそれを、朝の光をうけてアサガオが花を開くのではないかと考えます。

しかし、その研究家のためめ実験の結果、アサガオの花が開くためには、光とかあたたかい温度とか、そういうものだけでは不十分であるということがわかったのだそうです。

二十四時間、光をあてっぱなしにしていただけではアサガオの蕾は、ついに開きませんでした。

そこに紹介されている短い文章は、実験の結果を淡々と述べたものですが、ぼくにはとても詩的な感動をおぼえさせるものでした。

アサガオの蕾は朝の光によって開くのではないらしいのです。逆に、それに先立つ夜の時間の冷たさと、闇の深さが不可欠である、という報告でした。

もつと正確な話をご紹介すべきかもしれませんが、ぼくにはただ文学的なイメージとして、夜の冷たさと闇の深さがアサガオの花を開かせるために不可欠なのだという、その言葉がとても鮮烈にのこってしまったのでした。

ドイツ語に「ガルゲンフモール」という言葉があるそうです。

直訳すれば「断頭台上のユーモア」とでもいうのでしょうか。ある人はこの言葉を「曳かれ者の小唄」と、しゃれた訳しかたをしていました。

③ガルゲンフモール、という言葉を書きいて、ぼくがすぐに思い出すのは、例の有名なフランクルの「夜と霧」という本のことです。

皆さんもすでにご存じでしょうけれども、この『夜と霧』は、ウィーンの医学者であるフランクルが、家族とともにナチス・ドイツの手によってアウシュヴィッツに送りこまれ、そこで奇蹟的に死の収容所から生還してくる感動的なレポートです。フランクルはユダヤ人でした。そして、そのために愛する妻や娘たちをアウシュヴィッツで失わなければならませんでした。

強制収容所における彼の体験を冷静につづったレポートが、邦訳『夜と霧』として刊行されたのは、もう何十年も昔のことです。

問八 — 部⑧「いつものよそよそしい、無口な子ども」は、ここより前の部分では何と表現されていますか。それがわかる部分(二十二文字)を書き抜きなさい(読点含む)。

- ア 暗喩法
- イ 擬人法
- ウ 倒置法
- エ 直喩法

問九 — 部「サクランボのように真っ赤」は何という表現方法ですか。次の選択肢から探し、最もふさわしいものを記号で答えなさい。

- 問十 空欄 1 4に適切な語句を入れるのに、最もふさわしい組み合わせを次から選び、記号で答えなさい。
- | | | | | | | | |
|-----|------|---|------|---|------|---|------|
| A 1 | こんな | 2 | いっそう | 3 | あまり | 4 | とつぜん |
| B 1 | いっそう | 2 | あまり | 3 | とつぜん | 4 | こんなに |
| C 1 | あまり | 2 | とつぜん | 3 | こんなに | 4 | いっそう |
| D 1 | とつぜん | 2 | こんなに | 3 | いっそう | 4 | あまり |

問十一 — 部 a d のカタカナを漢字に直しなさい。

- a テル b シンメ c タンジュン d レンチュウ

二、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

以前、一冊の本を読んだことがありました。それは生物学者が書いたわかりやすい植物の生態に関する本なのですが、その本の中に、ほんの短い分量ですが、とても面白いエピソードがあつて、ぼくの興味をつよくそりました。

それは、あるアサガオ研究家の話です。

学生時代からアサガオがどうして朝、決まった時間にみごとな大輪の花を咲かせるのだらうと疑問を抱いた女性がいて、その研究を大学でもつづけ、さらに研究者

しかし、ほそぼそとではありますが、^④今もなおその本が読まれつづけていることは、今の大量生産大量消費のジャーナリズムの世界では一種の奇蹟のような感じさえします。ぼくは若いころ『夜と霧』に出あつて、それ以来ずっとこの本のことを考えつづけ、喋りつづけてきました。

ぼくにとって大事なのは、例によって筆者が書くこととした本筋の部分よりも、なにげなく触れられた短い文章の断片です。

(中略)

フランクルたちも、その死の収容所の中で、人間としてこれ以上は生存することのできないと思われる極限状態を体験したのです。彼が生還できたのは、おそらく彼を支える科学者としての知性と、信仰、そしてあくなき人間に対する希望、そういうものであつたにちがいありません。

しかし具体的には、それらの強い精神は、日常生活の瑣事としてあらわれてきます。フランクルは、ほとんど栄養失調の状態の中で書いた、どこか遠くからきこえてくる古い懐かしい音楽のメロディーのことを記録しています。

そして強制労働のさなかに、水たまりに映った風景が、^①古典的な名画のようであつた記憶も、書き落としてはいません。

それにもまして、ぼくの気持ちを惹きつけたのは、彼らが極限状態の中においてユーモアを持ちつづけようとした必死の努力でした。

フランクルたちは仲間と約束を交わしあいます。どんなに苦しくても、どんなにつらくても、人間には笑ひが必要だ。だから、一日に何か一つ、心から笑えるような、そういうおもしろい話を考えだして、お互いに笑いあおうじゃないか。

⑤そして彼らは、冗談など考えつくこともできないと思われる悲惨な恐怖の中で、魂をしばり出すようにして滑稽な話を考え、愉快なジョークを披露しあうのです。

そして、^②力なくかすかに頬をゆるめて笑いあつたにちがいありません。

このようなユーモアが、たぶん「ガルゲンフモール」というのではないかと思つたりもします。いや、ひょっとするとおとつとグロテスクな、もつと^⑥的な深味を含んだ言葉でしょう。

だが、なぜかぼくは「ガルゲンフモール」といえば、このアウシュヴィッツでの四人たちの必死のジョークを思い出すのです。

人間が生きてゆくことは大変なことです。人生とは、3 かるやかなものでも、明るいものでもありません。

冷静にふり返ってみればみるほど、人間の世界には、まっ黒い巨大な淵がぼつかりと不気味な口をあけています。

そこをのぞきこむことの不快さに、私たちは目をそらし、できるだけかるやかに明るく生きてゆこうとする。しかし実際には、そういう努力は、ほんの一時のなぐさめにすらならないのではないかと考えることがあります。

私たちはいつの間にか悲しむことを忘れ、暗さに沈潜することを嫌い、そして涙を流すこと、感傷的なること、哀愁を感じることを軽蔑するようになってきたのではないのでしょうか。

「ユーモアの源泉は哀愁である」

と、マーク・トウェインが言うとき、その声の背後には深い苦渋がかくされています。

私たちはもっと率直に、心の中の切なさ、悲しみ、または苦しみを、はっきりと口に出して表現したほうがいいのではないのでしょうか。

悲しむことを忘れた人間に、本当のよろこびが訪れるわけはないとぼくは思います。

(中略)

ただ、私たちは、悲しむべきときに悲しまない人間にだけはなつてはいけないう思ふのです。

暗いものを暗いと感じ、悲惨なものを悲惨と見、そして怒るときは怒り、その気持ち率直に友人や家族たちにぶちまけて悲憤慷慨するような、そんな人間のありかたのほうが、魅力的に感じられるだけです。

かつての湾岸戦争では、さかんにハイテクが駆使されて、

「きれいな戦争」

などという、しらじらしい見出しが紙面をかざりました。そして戦争がテレビ

び記号で答えなさい。

ア その本の内容はとても残酷なことであり、今もおその本がほそそと読まれているということは、人の関心は残酷なところに目がむけられているということ、それは今の大量生産大量消費のジャーナリズムの世界では当たり前のことだから。

イ その本の内容はとても奇蹟的な内容であり、それがいまだにほそそと読まれ続けていることは奇蹟的な内容に引き付けられる人々が沢山いるということ、それは今の大量生産大量消費のジャーナリズム世界にびつたりだから。

ウ 短期間に大量に作って売りきってしまうという大量生産大量消費の現代ジャーナリズムの世界で、沢山売れなくてもいまだにその本が読まれ続けているということとはとても奇蹟的なことだから。

エ 売り出された本が売れなくても、内容が良ければ残っていくのが、今の大量生産大量消費のジャーナリズムの世界の鉄則であり、沢山売れなくてもいまだにその本がほそそとではあるが、読み継がれていることは大量消費に見合っているということだから。

問五 — 部⑤「そして彼らは、冗談など考えつくこともできないと思われる悲慘な恐怖の中で、魂をしばらく出すようにして滑稽な話を考え、愉快なジョークを披露しあう」のはなぜですか。最もふさわしいものを次の選択肢から選び記号で答えなさい。

ア フランクルたちは、どんなに苦しくても、どんなにつらくても、人間には笑いが必要だと考え、心から笑えるようなおもしろい話を考え出して笑い合おうとしたから。

イ フランクルたちは、人間としてこれ以上は生存することができなと思われ極限状態を体験したことによって、科学者としての知性と、信仰、そしてあくなき人間に対する希望を思い出したから。

ウ フランクルたちは、ほとんど栄養失調の中にあっても、古い懐かしい音楽のメロディーを聴いて癒され、水たまりに映った風景が古典的な名画のように見えることに癒されたから。

ゲームのように現実感のないものとなり、私たちはまるで白昼夢を見たような感じで、あの戦争を見送ったような気がします。

しかし、いつも心の片隅に、えもいわれぬ悲しみと、いらだたしさと、不快さを感じた人も多かったにちがいありません。

それをはっきりと大声で表に出すことが、なにか気恥ずかしいことのように感じられる世の中の状況でした。

しかし、それでいいのだろうか、と感じるのです。

ぼくは、深く悲しむものこそ本当のよろこびに出あうものだと思います。

暗さのどん底においてゆく人間こそ、明るい希望と出あえるのではないかと。親しい友達や家族と顔をあわせたときに、

「なんと悲しいことかしら！」

と、率直に言えるような、そんな感性こそ、今の私たちにとても大事なもののようない気がしてならないのです。

(五木 寛之「生きるヒント」より)

問一 空らん①に当てはまる言葉を次の選択肢から一つ選び記号で答えなさい。

ア 小説 イ 童話 ウ 講話 エ 挿話

問二 — 部②「アサガオの花が開くために」そうです」とありますが、アサガオの花が開くためには何が必要だと筆者は言っていますか。本文中から十字で抜き出して答えなさい。

問三 — 部③「ガルゲンフモール」という言葉をきいて、ぼくがすぐに思い出すのは、例の有名なフランクルの「夜と霧」という本のことです」とありますが、「ガルゲンフモール」という言葉の意味と「夜と霧」の共通点を説明しなさい。

問四 — 部④「今もおその本が読まれつづけていることは、感じさせます。」と筆者が感じているのはなぜですか。最もふさわしいものを、次の選択肢から選

エ どんなに苦しくても、どんなにつらくても、人間には心の癒しが必要であり、フランクルを支える科学者としての知性と、信仰、あくなき人間に対する希望が笑いを求めたから。

問六 空らん⑥「的」に入る言葉は、「一見真理に反するようで、その実、真理であるようなもの」という意味であるが、その意味として最もふさわしい言葉を次の選択肢から選び記号で答えなさい。

ア 逆接
イ 逆説
ウ 順接
エ 順説

問七 — 部⑦にある「切なさ」「悲しみ」「苦しみ」の文法的説明として、最もふさわしいものを、次の選択肢から選び、記号で答えなさい。

ア 形容詞＋「さ」「み」＝形容動詞
イ 形容動詞の語幹＋「さ」「み」＝動詞
ウ 動詞の語幹＋「さ」「み」＝形容詞
エ 形容詞の語幹＋「さ」「み」＝名詞

問八 — 部⑧「悲しむことを忘れた人間に、本当のよろこびが訪れるわけではない」と同じような内容が書かれた箇所をこれより後の所から探し出し、五十字以内でまとめなさい(句読点を含む)。

問九 次の選択肢で、本文全体の筆者の主張としてふさわしいものには○、間違っているものには×をつけて答えなさい。

ア 人の世界には闇の部分があり、悲しみや苦しみが生まれるが、それらから目をそらさないことによって本当の喜びに出会えると考えている。

イ ドイツ語のガルゲンフモールという言葉を使い学んだことは、人間はどんな極限状態においても笑いを忘れないでいられる強い存在だということである。

ウ『夜と霧』には、極限状態の中でも強い精神力を持つて生還した人々がいたということを訴えて、どんな極限状態におかれてもあきらめてはいけないということが書かれている。

エ アサガオが咲くための面白いエピソードが、筆者の興味をそそり、そのエピソードに詩的な感動をおぼえたということ。

問十 空らん 1 3 にあてはまる言葉として、最もふさわしいものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 決して イ あたかも ウ おそらく

問十一 —— 部 a d の漢字の読みを答えなさい。

a 生 態 b 懐かしい c 交 渉 d 率 直

二〇二一年度(平成三三年度)

中学校第一回

入学試験問題

国 語

注 意

左のことをよく読んで、**解答用紙**に解答を書きなさい。

(ア) まず初めに、受験番号と氏名を解答用紙(一枚)に書きなさい。

(イ) 問題をよく読んで、解答用紙のきめられた場所に解答を書きなさい。

(問題用紙に解答しても無効です)

(ウ) 時間は五〇分です。

(エ) この問題用紙は持ち帰ることはできません。試験終了後、回収します。

二〇二二(平成二三)年度 中学校 第一回入学試験解答用紙 国語(五〇分)

一 二

問十一		問十	問九	問八			問七		問六				問五	問四	問三	問二	問一
c	a						)										
タン	テ																
ジ																	
ユ	る																
ン																	
d	b																
レ	シ																
ン	ン																
チ	メ																
ユ																	
ウ																	

点

点

点

点

点

点

点

点

点

点

点

点

点

点

点

点

点

点

問十一		問十	問九	問八					問七	問六	問五	問四	問三	問二	問一
c	a	1	ア												
交	生														
	態	2	イ												
わ															
し		3	ウ												
d	b														
率	懷		エ												
直															
	か														
	しい														

点

点

点

点

点

点

点

点

点

点

点

点

点

点

点

点

点

点

受験番号

氏 名

合計点数